

# 教えて！まちの話題 すみだ見聞録



墨田区長  
山本 亨

身近なまちの話題を紹介する「すみだ見聞録」第9弾。それでは早速、今回寄せられた話題を紹介します。

## 墨田区ゲートボール連合会 姉妹区提携交流ゲートボール大会の雪辱を期し千葉県白子町で合宿!!

平成29年7月4・5・6日の3日間、千葉県白子町で2泊3日のゲートボール合宿を行いました。今年度は、姉妹区交流大会で墨堤会が3位、いきいき東向会が4位・敢闘賞と、台東区との差を縮めてきています。来年度は、合宿の成果を発揮したいと思います。

(東向島在住の長谷川 捷三さんより)



### 区長から

合宿お疲れ様でした。ライバルとの差を縮めてきているとのことなので、合宿の成果が活かされる、今後の活躍が楽しみです。

## 子ども科学教室でロボットをつくったよ!

8月1日と2日に墨田区役所で行われた、子ども科学教室「6足歩行ロボット“ボクサー”をつくろう!」に参加しました。小学校4年生～6年生の39人が参加し、芝浦工業大学の学生さんに教えてもらいながらロボットを完成させました。そして参加者のロボット同士を戦わせる競技会で、優勝することができました。その結果、11月に行われる全国大会に出場できることになりました。全国大会は強敵が多いと思いますが、優勝できるよう頑張ります。



(太平在住の土子充希さんより)

### 区長から

自分が組み立てたロボットで勝つことができたのは嬉しいですね。全国大会でも優勝めざして頑張ってください。

## 心に残る一日

7月13日、全国の小学校から選ばれた5校で開催されるスケートキャラバンが、横川小学校に来てくださいました。いつも使っている体育館がスケートリンクになり、みんな大興奮。五輪アイスダンス元日本代表のキャシー・リードさんのお話を聞いたあと、4年生がキャシーさんと一緒にスケートを体験しました。きらきらした瞳で話を聞き、キャシーさんの横で嬉しそうに滑る子どもの姿が見られました。子どもたちからは、「夢をあきらめないで努力したい」「好きなことを続けて得意になりたい」「オリンピックの方と滑ることができて最高だった」などの感想が聞かれ、心に残る一日となったようです。



(横川小学校教諭の永沢未紀さんより)

### 区長から

とても貴重な体験になりましたね。子どもたちには、この日感じたことを胸に、それぞれの夢を叶えてほしいです。

## 地域の住民のふれあいの場です

東駒形二丁目会館で毎月10日に実施する「ふれあいサロン」は7月で2年目を迎えました。毎回近くの住民が大勢集まり、おしゃべりを楽しんでいます。今回は、作業療法士をゲストにお呼びし、お風呂に入るときや階段を上るときなどに役立つ、日常のちょっとした動作の工夫についてお伺いしました。

(東駒形在住の稲田 稔さんより)

### 区長から

地域の方とつながり、楽しむことができる良い場ですね。作業療法士の方から学んだことも、ぜひ、日常生活の中で活かしてください。



## 家族の話題・まちの話題をお待ちしています!

応募方法等の詳細は、今号3面をご覧ください。

# 夢

## 大規模水害に備えた対策の検討を進めています

墨田区長

山本 亨

9月9日、すみだリバーサイドホールで「江東5区広域避難推進シンポジウム」が開催されました。墨田区・江東区・足立区・葛飾区・江戸川区が共同で初開催したこのシンポジウムは、荒川の氾濫等により大規模な水害が発生した場合を想定し、「広域避難」の重要性とその課題などについて、専門家やパネリストの方々、参加者の皆さんと一緒に考える有意義な機会となりました。

江東5区では、荒川の氾濫などの大規模水害の発生に備え、2年前から対策の検討を進めており、昨年8月には「犠牲者ゼロ」の実現に向けて「江東5区大規模水害避難等対応方針」を取りまとめました。この対応方針では、浸水域内の全住民が浸水域外に避難する「広域

避難」を理想とし、その必要性を掲げています。その上で、現段階では発生が不可避な垂直避難者の被害低減に取り組むこととしています。

この方針に基づき、広域避難の具体化に向けた課題等を検討していくため「江東5区広域避難推進協議会」を発足させました。江東5区の区長が参加し、今年5月に開催された第1回会合では、江東5区全体を網羅したハザードマップの作成や広域避難行動計画の策定作業を進めていくこととしました。

本区でも水害対策のさらなる強化に努めていきますが、行政の対策だけでは限界があります。大規模水害時には、2週間以上浸水が続くとの想定もあり、正しい情報に基づく早めの広域避難が極めて重要です。自分は大丈夫と思

わずに、改めて自分の身は自分で守る「自助」の意識と的確・迅速な行動をお願いします。



「江東5区広域避難推進シンポジウム」では、多くの方が広域避難の必要性と課題について学びました。